

事故事例



水抜き方法のご案内



株式会社賃貸管理ニックス

※使用されている機器類は、メーカー毎に形状や使用方法が異なる場合がございます。

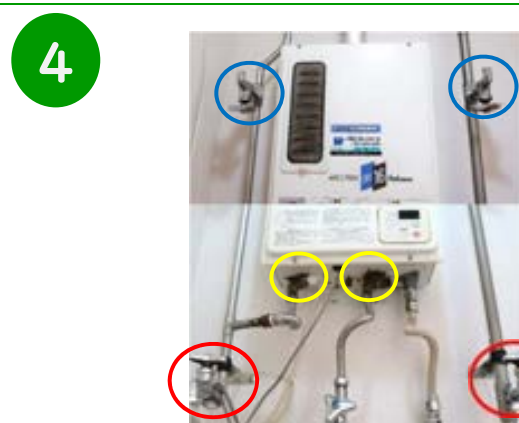


■止水栓（元栓）：ハンドル式・レバー式・電動式などがありますのでご確認ください。
 写真の【黄色○】内にあるハンドルを止水方向に回します。電動式の場合は作業版に従い水抜ボタンを押してください。
 （※途中で止めると故障の原因になるので止まり切るまで回してください）

■浴室
 シャワーホースを床に置きます。
 【赤色○】蛇口を開けます。
 【黄色○】水抜き栓（つまみ）を回して水を出します。



■キッチン廻り
 【赤色○】蛇口を開けます。
 【黄色○】キッチン下の棚を開け、蛇口を開けます。
 （水が流れ出てきますので、ボール・バケツ・洗面器で受けてください）



■洗濯用蛇口
 【赤色○】洗濯用蛇口を開けて水を出します。
 【黄色○】水抜き栓（つまみ）を回して水を出します。
 （給湯器本体内部は、電源を入れておくとヒーターが作動しますので、電源はきらないで下さい。）
 【青色○】給湯器上にある水抜き栓（つまみ）を回し空気をいれます。



■シャンプードレッサー
 【赤色○】シャワー側のバルブを開き、水抜きをおこないます。
 混合栓を水とお湯の中間に置き固定します。
 【黄色○】シャンプードレッサーの下棚を開き、水抜き栓（つまみ）を回して水を出します。（水が流れ出てきますので、ボール・バケツ・洗面器で受けてください）



■トイレ
 【黄色○】タンク内の水が無くなるまでレバーを回します。（レバーを固定するロックボタンを押します）

○各項目共通

全ての蛇口、水抜き栓を開けても完全に水が抜け切らない場合があります。念のためホース等で瞬間湯沸器の水道管に空気を送り込んでください。
 また、通水する際は逆の手順で室内の**ハンドル・つまみ等が閉まっている事を必ず確認**してからゆっくりと止水栓を開けて下さい。

※使用されている機器類は、メーカー毎に形状や使用方法が異なる場合がございます。



■止水栓（元栓）は廊下にあるパイプシャフト内にあり、お部屋毎に分かれていますので自室専用であることを確認してください。
 ・手順1. 【黄色○】のcock（回転式のバルブタイプも存在します）をパイプに対して垂直にします。（水が止まります）
 ・手順2. 【赤色○】の水抜きバルブも垂直にし、水道管内に残った水を排出します。

■浴室
 シャワーホースを床に置き
 【赤色○】シャワーの方で水を抜きます。
 【黄色○】水抜き栓（つまみ）を回して水をだします。



■シャンプードレッサー
 【赤色○】シャワー側のバルブを開き水抜きをおこないます。
 混合栓を水とお湯の中間に置き固定します。
 【黄色○】シャンプードレッサーの下棚を開き、水抜き栓（つまみ）を回して水を出します。（水が流れ出てきますので、ボール・バケツ・洗面器で受けてください）



■キッチン
 【赤色○】シングルレバーを水・お湯の中心で固定します。
 【黄色○】水抜き栓（つまみ）を回して水を出します。



■洗濯機用蛇口
 【赤色○】洗濯機用蛇口を開けて水を出します。
 【黄色○】水抜き栓（つまみ）を回して水を出します。
 ■給湯器
 【青色○】給湯器の下の水抜き栓（つまみ）を回し、水を出します。（給湯器本体内部は電源を入れておくこと給湯器本体のみヒーターが入ります。）



■トイレ
 【黄色○】タンクの水が無くなるまでレバーを回し続けます。
 また、不凍液を投入（台所・浴室・シャンドレ・トイレ）するなどし、水が残っている箇所の部分的な凍結を回避しましょう。
 ※シャワートイレは、電源が入っていれば水抜きする必要はありませんが 水抜きを行う場合は、取扱説明書を見て行って下さい。

○各項目共通

全ての蛇口、水抜き栓を開けても完全に水が抜け切らない場合があります。念のため、ホース等で瞬間湯沸器の水道管に空気を送り込んでください。
 また、通水する際は逆の手順で室内の**ハンドル・つまみ等が閉まっている事を必ず確認**してからゆっくりと止水栓を開けて下さい。